

放課後児童クラブ なかま～ず

一般社団法人 ゆめと月詩舎



<目次>

1, 一般社団法人ゆめと月詩舎について	1
2, なかま〜ずの過ごし方	2
3, なかま〜ずの保育	4
・あそび	4
・おやつ	5
・妖怪とともに地域へ飛び出そう！	6
—自分の街や地域を好きになる取り組み—	
・なかま〜ずの一員だという気持ちがふくらむ夏祭り	8
・“なかま〜ず”ならではの特別活動	10
・オプション	11
(ロボット工作教室、塾)	

1, 一般社団法人ゆめと月詩舎について

一般社団法人ゆめと月詩舎(つきのうたしゃ)は、「ひとりひとりの存在を認め、寄り添うことで、地域を愛する人を育み、自らも成長する、幸せな地域を創る」ことを経営理念に、子ども応援ステーションなかま〜ず、大人応援ステーション河童の足跡を運営してまいりました。放課後児童クラブの運営は、前団体時代から彦根市で10年以上の実績があります。

現在運営している放課後児童クラブは、

「なかま〜ず安土(近江八幡市)」

「なかま〜ず篠原(近江八幡市)」

2022年度から

「多賀放課後児童クラブ(犬上郡多賀町)」

指導員は保育士、教諭資格者が多く在籍し、専門資格である支援員資格も取得しています。

他にも若者を始め、いろいろな世代の指導員で構成されており、多種多様な保育を目指しております。

私たちは、

放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るため、地域の人々と共に「児童の生きていく力」を育てていきます。

わたしたちは、子どもたちの

安心・安全な居場所を提供します！

2, なかま～ずの過ごし方

◆平日

5時間下校～ (15:00頃)	登室 うがい手洗い 宿題 5時間下校時は、“宿題の時間”を設け 生活習慣の定着化を目指します。
15:20～	自由時間開始 あそび, おやつ開始
6時間下校～ (15:50頃)	登室 うがい手洗い, 宿題, あそび, おやつ 6時間下校の場合、宿題やあそび、おやつ等は、 迎えが来るまでの間をどう過ごすか、子ども自身 が考えて過ごします。
18:00～	静かに過ごす時間
18:30～	通常保育終了 延長保育開始



◆土曜日や長期休暇（夏休み等）

7:30～	早朝保育開始（要相談）
8:00～	通常保育開始
9:00～	朝の会
9:15～	自由時間
11:15～	学習の時間
12:00～	昼食 静かな時間（体を休める時間）
13:00～	自由時間
15:00～	おやつ開始
18:00～	静かに過ごす時間
18:30～	通常保育終了 延長保育開始（要相談）



3, なかま～ずの保育

あそび

外あそび

天気の良い日は、小学校の運動場や近所の公園へ遊びに行きます。遊ぶ時間は1時間程度です。運動場では、なかま～ずの子だけではなく他の学童の子や、外から来た友達と楽しく遊んでいます。



室内あそび

室内では、ボードゲームやブロック、お絵かき、工作、読書などみんな思い思いのやりたいことをして過ごしています。



おはなし会

月に一度、おはなし会があります。おはなしをしてくれる先生は、図書館でいろいろな本を借りて、みんなに紹介し、読み聞かせをしてくれます。

おやつ・食事

おやつ

なかま〜ずでは、15分のおやつ時間を子どもたち自身で選びます。子どもたちは、その日の気分やあそび等を考慮し、好きな時間を選んでおやつを食べます。

おやつは普段のおやつに加え、誕生月の子どもたちがおやつを決める『スペシャルおやつ』、指導員がその場で作る『手作りおやつ』等があります。



なかま〜ずランチ

夏休み等の長期休暇中に、なかま〜ずで用意した昼食をみんなで食べる日があります。市販のものから指導員の手作り料理等があります。



妖怪とともに地域へ飛び出そう！

—自分の街や地域を好きになる取り組み—

夏休みのなかま～ずには、妖怪から手紙が届くのです。手紙には妖怪の願いが書かれています。

自分たちが暮らす街や地域を好きになってほしいという目的で、より地域を知る取り組みの題材として“妖怪”が登場します。この妖怪は、この地域に本当にいたといわれるものたちです。



妖怪からの手紙に誘われて、子どもたちは地域へ飛び出していきます。子どもたちはこの取り組みの中で、地域の人とふれあい、歴史を知ることが、仲間とともに経験することで、自分たちが暮らす街や地域を好きになっていくのです。

◆これまでに行なってきた妖怪の活動



団体代表の川崎敦子による妖怪のお話。身近に潜む様々な妖怪を子どもたちに紹介している様子です。子どもたちも興味津々でした。



幸運の妖怪ケセランパサランをビンの中に詰め、幸運のお守りを作ったときの様子です。



妖怪からの手紙を調べた結果、たどり着いた場所は龍神が祀られている“藤ヶ崎龍神社”でした。



人魚伝説が残る“観音正寺”の住職から、人魚にまつわるお話を聞いている様子です。



今年のなかま～ずの夏休みは河童からの手紙で始まり
ました。その手紙には河童の願いとして、

“むかし、いつも見ていたお城を再現してほしい”

と書かれてありました。



この手紙をもとに、子どもたちはグループで集まって話
し合いをします。

『お城って、どこのことやろう??』

分からないことは、本やインターネットを使ったり、家
の人や地域の人に聞いたりして、河童が言う城について
調べました。

図や写真だけでは、まだまだ分からないことが
多いので、城がどんなものなのかを詳しく調べ
るために“安土考古博物館・信長の館”へ行
きました。ここで調べたことは、クラブに戻っ
てすぐさまグループで話し合いです。そして、
みんなが見聞きしたものを参考に、城の設計図
を完成させました。



設計図をもとに城作りが始まります。城は木と
段ボールを使って作るようになりました。釘を
叩く金づちの音がトントンとクラブ内に鳴り響
きます。そうして、2つの城が形になっていき
ました。1つは安土城をモチーフにした城、も
う1つは黄金の城です。



城作りはまだ途中です。城が
完成したころには、妖怪から
また手紙が届くことでしょう。

なかま～ずの一員だという気持ちがあふくらむ夏祭り



放課後児童クラブでは、子どもたちが遊びを通じて自主性や創造性を養うと共に、仲間との関係や遊びのルール等を学び、社会性を身に付けていく援助をしています。これらの活動で年間を通して最大のものが「夏祭り」です。夏祭りは、子どもたちが計画し、準備を進め、当日の運営を行ないます。

なかま～ずの夏祭りは、低学年から高学年の縦割りのグループに分かれて、それぞれが考えたお店を出店します。このグループは、グループのリーダー、副リーダーを務める高学年の子たちが話し合っで決めたものです。夏祭りの計画、準備、運営において、みんなをまとめて、引っ張っていくリーダーの存在はとても重要なものです。そんな彼らの頑張りや成長が見られるのが、この夏祭りでもあるのです。

企画

夏祭りの話し合いは、夏休みが始まってすぐに始まります。夏休みの間は週1回以上グループ会議をして、夏祭りの企画や準備等を進めます。



グループ会議

グループごとに、リーダーを中心に話し合いを行います。出店内容や準備スケジュール、ルール作り、当日の役割分担等、メンバー全員で意見を出し合い、必要なことを決めていきます。

準備

夏休みの半ばから本格的な準備が始まります。グループ会議で決めたスケジュールを見ながら、『今日はこれをつくろう！』とみんな準備を進めていきます。

『わたしもみんなの役に立ちたい』

夏祭りの準備をしている時に、とある子が言った言葉です。みんなと活動をしていく中で、なかま～ずの一員として、グループの一員としての自覚が芽生え、みんなのために何かしたいという気持ちが

なかま～ず夏祭り 2023年ver.



安土



篠原

開会式

リーダーたちによる開会式。この日まで、みんなを引っ張ってがんばってきたリーダーが開会宣言をします。

なかま～ず安土



スーパーボールすくいポイでいろんな色や大きさの違うボールをすくいます。

なかま～ず篠原



魚釣り

磁石がついた釣り竿でいろんな魚を釣り上げるゲームです。

お化け屋敷

段ボールをつなげたトンネル型のお化け屋敷です。



レーザーゲーム

部屋中に張り巡らせたビニールひもに当たらないようくぐり抜けるゲームです。



射的

ゴム鉄砲で紙コップのタワーを崩すゲームです。



射的

ゴム鉄砲で台の上の紙コップを落とすゲームです。

なかま～ずの夏祭りは、子どもたちのお店以外にも、楽しい（おいしい）ことがたくさんあります。



夏祭り中はポップコーンが食べ放題！



なかま～ずにクレープ屋さんが来てくれました。



今日のおやつは駄菓子屋スタイル

“なかま～ず”ならではの特別活動



なかま～ずには、妖怪や夏祭り以外にも
様々な特別活動があります。



妹背の里

夏の恒例行事になったデイキャンプ。
今年は、水風船を使って水遊びをしました。



映画館へ行こう



ペットボトル ロケット



ダンス教室

ダンス留学経験のある指導員が、本格的な
ダンスを教えます。



うどん打ち



遠足

なかま～ず安土・篠原
合同で琵琶湖の沖島へ。



工作

左から写真立て、宝石石鹸、スライム



オプション

(なかま～ずの保育中にできるので、送迎の必要がありません)

ロボット工作教室

なかま～ずでは、月2回ロボット工作教室を開いています。
子どもたちは、ものづくりを楽しみながら創意工夫する力をぐんぐん伸ばしています。



学習塾 (ふおるすりーる)

なかま～ずでは学習塾を開いています。
無学年方式で、児童それぞれの実力にあった級数を選んで始めることができます。

教科は、算数と国語の2教科

授業は45分を1コマ、月4回です。

(安土は現在休止中、人数が集まり次第再開します)





一般社団法人 ゆめと月詩舎

〒5220033

彦根市芹川町538

0749(41)9035(TEL)



なかま〜ず安土

〒5211351

近江八幡市安土町常楽寺616

0748(47)8164(TEL&FAX)



なかま〜ず篠原

〒5230056

近江八幡市古川町1192-40

0748(47)3489(TEL&FAX)